

## 1951 年 Dream E ドリーム E 型

Honda 初の 4 ストロークエンジン搭載車「ドリーム E 型」。排気量は、軽二輪自動車の規格(4 ストロークは 150cc まで、2 ストロークは 100cc まで)に合わせて設定しました。

当時、市場の主流は軽量・コンパクトで製造コストが安い 2 ストローク車。しかし、甲高い排気音や白煙を敬遠し、耐久性や燃費に優れた 4 ストローク車を求める人が増加したことから、4 ストロークエンジンの開発が急務に。他社は構造が簡単で加工しやすいサイドバルブ方式を採用することが多かったのに対し、Honda は高性能化を実現する OHV (オーバーヘッドバルブ)方式を採用しました。

1951 年 7 月、試作エンジンをドリーム D 型に搭載したテスト車両に設計者の河島喜好が乗車し、箱根越えに挑戦。排気量の大きな四輪車でもノンストップでは困難な峠を見事走り切り、新開発の 4 ストロークエンジンの高い性能を実証しました。

### 主要諸元

エンジン形式	4 ストローク OHV 単気筒
排気量	146cc
最高出力	5.5PS/5,000rpm
全長×全幅×全高(mm)	2,075×750×1,020
車両重量	82kg
点火方式	フライホイールマグネット
タンク容量	7L
タイヤサイズ	前後 19 インチ
フレーム形式	チャンネル型プレスフレーム